

Air bike

取扱説明書

bicycle-213assist 電動アシスト自転車

自転車を安全・快適にご使用いただくため必ずお読みください。



いつまでも安全にお乗りいただくために、
電動アシスト自転車の正しいご理解とご使用をお願いいたします。

◆仕様、その他の変更などにより、画像や内容が一部実車と異なる場合があります。

この度は〈Air bike〉をお求めいただきまして、
誠にありがとうございます。

〈Air bike〉は、電動アシスト走行機能を搭載した自転車です。
ご使用の前に、安全に関するご注意をよくお読みの上、
正しくお使いください。

» INDEX

P3	自転車運転者講習制度
P4	ご使用の前に
P5	交通ルール
P6	お手入れと保管
P7	各部名称
P8～11	組み立てについて
P12	ペダルの取り付け/リング錠について
P13	主電源・トルクセンサー
P14	チャイルドシート・リアキャリア
P15～17	バッテリー充電手順
P18～21	タイヤ空気圧とバッテリー使用注意事項
P22	防犯登録
P23	修理サービス案内
P24	修理サービス保証書 / 商品仕様

■自転車に歩行者の感覚で乗るのはおやめください。

公道を走行する乗物です。周囲の交通環境を的確に判断した乗り方をしなければ、自分・周囲を含めての重大な事故につながる場合があります。

■重要なのは、自分の自転車に慣れることです。

日頃の手入れや定期的な点検が必要です。
修理などについてご不明な点ありましたら、販売店までご連絡をください。

改正道路交通法の施行（平成27年6月1日）により、自転車の運転に関して、信号無視などの危険なルール違反を繰り返すと、公安委員会から自転車運転者講習の受講を命ぜられる制度です。

一定の危険な違反行為をして検挙され、または事故を起こした。

《3年以内に2回以上》

〈公安委員会が命じる〉

自転車運転者講習を受講

- 講習時間：3時間
- 手数料：6,000円

受講に従わない場合

- 5万円以下の罰金

■ 自転車運転者講習の対象となる「危険行為」とは

1 信号無視

[法 第7条違反]

信号機の信号などに従わない行為。



2 通行禁止違反

[法 第8条第1項違反]

道路標識などで自転車の通行が禁止されている道路や場所（歩行者天国など）を通行する行為。



3 歩行者用道路での徐行違反

[法 第9条違反]

自転車の通行が認められている歩行者道路を通行する際に、歩行者に注意をせず、徐行しないなどの行為。



4 通行区分違反

[法 第17条第1項、第4項又は第6項違反]

車道の右側通行や、右側に設置された路側帯を通行するなどの行為。



5 路側帯での歩行者の通行妨害

[法 第17条の2第2項違反]

自転車が通行できる路側帯で歩行者の通行を妨げるような速度と方法で通行する行為。



6 遮断踏切への立ち入り

[法 第33条第2項違反]

遮断機が閉じていたり、閉じようとしている踏切、警報機が鳴っている時に踏切に立ち入る行為。



7 交差点安全進行義務違反等

[法 第39条違反]

信号のない交差点で、左からくる車両や優先道路などを通行する車両などの進行を妨害する行為。



8 交差点優先車妨害等

[法 第37条違反]

車道の右側通行や、右側に設置された路側帯を通行するなどの行為。



9 環状交差点安全進行義務違反等

[法 第37条の2違反]

環状交差点内を通行する車両等の進行を妨害する行為など。



10 指定場所一時不停止等

[法 第43条違反]

一時停止の標識などを無視して進行する行為。



11 歩道通行時の通行方法違反

[法 第63条の4第2項違反]

車道寄りを徐行しなかったり、歩行者の通行を妨害するなどの行為。



12 制動装置不良自転車の運転

[法 第63条の9第1項違反]

ブレーキ装置がなかったり、ブレーキの性能が不良な自転車で走行する行為。



13 酒酔い運転

[法 第65条第1項違反]

酒に酔った状態で自転車をお運転する行為。



14 安全運転義務違反

[法 第70条違反]

ハンドルやブレーキ等を確実に操作せず、また他人に危害を及ぼすような速度や方法で運転する行為。
※携帯電話を使いながら通行して、事故を起こした場合にも適用されることがあります。



15 携帯電話使用等

[道路交通法第71条第5号の5]

16 妨害運転

[道路交通法第117条の2第1項第4号又は道路交通法第117条の2の2第1項第8号]

自転車に乗られるときは、
交通ルールを守り
安全に楽しく乗りましょう。

本製品は組み立てが必要です。（組立完成品でご購入のお客様は不要です。）
組み立てが完了し、自転車のご乗車前には必ず説明書の記載事項をご確認いただきまして、
自転車の点検・調整を行った上でご乗車ください。

ご使用の前に

- 未組立や未調整の自転車には乗らないでください。
- ブレーキやハンドル・サドル・車輪の固定、タイヤの空気圧などの乗車前点検は必ず行ってください。
- 各部品が正常に取り付けられていることをご確認ください。（「各部名称」ページ参照）
- 改造しないでください。
- 安全に長くお乗りいただくためにも、定期的に弊社または自転車の整備士、それと同様の技術を有する者による点検を受けてください。
- 購入後2ヶ月以内は、ネジや各取り付け部品のなじみなどの影響でゆるみが生じやすくなっています。
ネジ等にゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は、増し締めを行ってください。
- 初期の点検・確認をせずに乗車した場合の故障は有償修理となります。
- 水圧のかかる洗車や雨天での使用、雨つゆや直射日光の当たるような場所での保管は、錆や故障の原因となる場合がありますので、十分ご注意ください。
- 不安定な場所に自転車を保管しないでください。
- タイヤの空気入れは米式バルブです。ホームセンター・自転車販売店でお求めいただけます。
- 飲酒時やかぜ薬を服用したとき、体調の悪いときは乗らないでください。
- ハンドルに手荷物やペットのリードをつないでの使用はやめてください。
- 滑りやすい靴やかかとの高い靴、サンダル等を履いて乗らないでください。
ペダルから足がずれやすくなり、大変危険です。
- かさをさして乗ったり、片手運転や手放し運転はしないでください。
- かさやステッキなどの棒状のものをぶら下げたり、差し込んだりしないでください。
- 下り坂や濡れた路面等は大変危険です。スピードを出しすぎないでください。
- スピードを出しすぎて急ハンドルをきることはおやめください。
- 自動車の横を走行するときは、必ず安全を確認してください。
- 凹凸の激しいところでは乗らないでください。
- 巻き込まれやすい服装（裾の長い服や生地が薄い服、マフラー等）では乗らないでください。
- 乱暴（アクロバットの）な運転はしないでください。
- 視界の悪いときや夜間は、無灯火で乗らないでください。
- 自転車の走行以外の目的では使用しないでください。
- 交換部品は必ず純正部品を使ってください。
異常がある場合はご使用をとりやめ、すぐに販売店へご相談ください。

注 ■前輪ロックに注意してください。

前輪ロックとは、走行中に前輪の回転が急に停止してしまう状態を指します。
衝突と同程度の衝撃があり、前のめりに転倒するなど非常に危険です。

※前輪がロックされる状況は下記のものがあります。

- 走行中に急ブレーキをかける。（スリップして転倒事故の原因になります。）

■交通ルールを守りましょう。〈道路を走るときに必要なルールです。まず、これだけは覚えておきましょう。〉

- 見通しの悪い交差点や、狭い道から広い道に出るときは、一時停止して左右の安全を確認してください。
- 子供の飛び出しに注意（公園や学校のあるところでは、子供の飛び出しに十分注意してください。）
- 視界の悪いとき（必ず前照灯をつけてください。また、前照灯は早めにつけてください。）
- 停止するとき（右腕を斜め下に出して停止してください。）
- 左折するとき（右腕のひじを直角に上げ、速度を落として曲がってください。）
- 交差点では左に曲がる車に注意
（左に曲がる車のすぐ横は、巻き込まれるおそれがありますので十分注意してください。）
- 車道の左側を必ず一列で走行してください。
- 信号機のない交差点で右折するとき
（右腕を水平にし手のひらを下にして、向こう側まで進んでから右折してください。）
- 歩道を通行できるところでは（歩行者優先で、車道寄りを徐行してください。）
- 車のすぐ横を走るとき
（急にドアが開いたり、車の陰から人が出てくることがありますので十分注意してください。）
- 車のすぐ後ろを走るとき
（前方が見えにくかったり、車が急に止まったり、曲がったりすることがありますので十分注意してください。安全な距離を保ってください。）
- 踏切では（一時停止して左右の安全を確認してください。）

■道路標識を守りましょう。



禁止事項

※4ページの「ご使用の前に」に記載されている注意事項と併せてご確認ください。
（重複している項目もございます。）

- カーブではスピードを出さないでください。曲がり切れずに転倒する等の事故を起こす可能性があります。十分に速度を落としてからカーブに入ってください。
- 走行中にブレーキワイヤを引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。事故の原因となります。
- カーブでは曲がる側のペダルを下にしたまま走行しないでください。ペダルが地面と接触して、転倒や事故の原因となります。
- 滑りやすい場所や状況では使用しないでください。雪道や凍結した道、鉄板やマンホールの上など、滑りやすい場所では一旦自転車を降りて、押して通るか避けて通るなどで注意ください。
- 片側のみのブレーキ操作はおやめください。走行バランスを崩すことがあり、大変危険です。
- 凹凸のある道、段差の激しい道は走らないでください。バランスを失うこともあり大変危険です。階段や軌道敷内の走行もおやめください。
- 2人乗りやアクロバットの的な使用はおやめください。2人乗りは法令により禁止されています。
- 後輪にハブステップを付けての2人乗りはおやめください。保証の適用外にもなりますので、十分ご注意ください。
- 自転車を改造しないでください。改造した自転車は保証適用外になります。
- 濡れた道や下り坂では、スピードを出さないでください。適切なスピード（徐行）と余裕のあるブレーキ操作を心掛けてください。
- 荷物を手やハンドルにかけての乗車はしないでください。また、かさやステッキや釣竿など、長尺物を自転車の挟み込んだり下げたりはしないでください。バランスを崩したり、回転部分に挟まったりして車輪をロックさせることになるなど、大変危険です。

禁止事項

※4ページの「ご使用の前に」に記載されている注意事項と併せてご確認ください。
(重複している項目もございます。)

- 踏み台に使用するなど、本来の使用目的（走行）以外での使用はおやめください。転倒やけがの原因となります。
- 山岳・河川等で使用しないでください。ハンドルやフレーム、自転車の重要部分に重大なダメージを与えたり、破損の原因となります。これらの場所や類似する場所での走行もおやめください。
- 薬やアルコール等を摂取した状態で乗らないでください。また、体調の悪いとき（体力の低下や疲労時）の乗車もお控えください。
- 自転車に異常があるときは使用しないでください。車体や部品の破損原因となったり、転倒や事故など深刻な事態を引き起こします。
- ブレーキパッド、ブレーキシュー、リムに注油はしないでください。ブレーキが正常に作動せず、大変危険です。
- 二台以上で走行するときは、横にならんでの走行はおやめください。
- イヤフォン、ヘッドフォンを使用しての走行はおやめください。

自転車に異常を感じたら、ただちに使用を中止し、点検・整備を行ってください。
修理が必要な場合は、お早めに販売店にご相談ください。

お手入れと保管について

- 走行後は乾いた布やブラシで、泥や土・埃などを落としてください。
- 雨に濡れたときは、乾いた布でよく拭いた後、ブレーキレバー可動部、チェーン、ギヤに注油してください。
- メッキ部分は乾いた布でよく拭いた後に、錆止め油もしくは機械油を染み込ませた布で拭いてください。最後に表面に余分な油が残らないよう、再度乾いた布で仕上げ拭きしてください。
- 塗装面はよく汚れを落とした後に乾いた布で拭き、自転車用ワックス等を使用して、塗装を保護してください。なお、塗装面にはシンナーなど有機溶剤を使わないでください。
- 高温や多湿の場所には、保管しないでください。錆や部品変形の原因になります。
- 雨の当たる場所では、カバーをかぶせるなど雨が当たらないように保管してください。
- 直射日光の当たる場所に放置しないでください。塗装面やタイヤを含む樹脂部品の劣化を早めます。
- サドルやブレーキレバー、グリップには注油しないでください。操作の際、滑ることがあり、大変危険です。
- タイヤには油をつけないでください。劣化やスリップの原因となり、大変危険です。
- リムやブレーキシューなどの制動面には注油しないでください。正常に作動しなくなり、大変危険です。

消耗品と修理について

- タイヤ、ブレーキワイヤ、ブレーキシュー、バッテリー等は消耗品です。お求めの際には、販売店までお問い合わせください。価格及び納期をご案内させていただきます。※在庫状況によりましては、海外の工場より取り寄せとなる場合があります。その場合は、入荷まで1ヶ月以上お待ちいただくこともあります。

〈お取り換えの目安〉

- ブレーキワイヤ：ブレーキワイヤに錆が見られたり、ほつれがある場合。あるいは、1年以上使用している場合。
- タイヤ：タイヤの接地面の溝が一部でもなくなったとき、あるいはキズや亀裂、シワが現れたとき。
- ブレーキシュー：制動面の溝が残り1mm以下になったとき。
- バッテリー：1回の充電での走行距離が大幅に短くなって来たとき。
(ご使用状況や保管状況によって異なりますが、ご使用開始から2年目より徐々に消耗がみられるようになります。)

- お求めの自転車は5年間の安心修理サービスが付いております。詳細は23ページのご案内をご確認ください。

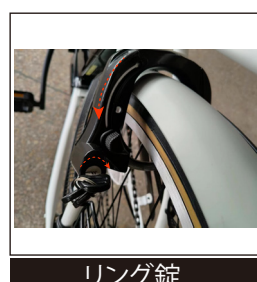
主な各部の名称



残量計



バッテリーロックキー



リング錠

付属品

◎取扱説明書 ◎充電器 ◎ペダル ◎サドル ◎工具 ◎鍵

●残量計について

フル充電時には、充電メーターがすべて点灯します。残量が少なくなるにつれて右からランプが消灯していきます。

ランプが残り2つになったときを目安にバッテリー充電を行ってください。

この自転車はパーツが分かれて梱包されており、お客様に組み立て・調整をしていただく必要がありますのでご案内いたします。なお、付属以外の工具につきましては、お客様自身でご用意いただきますようお願いいたします。

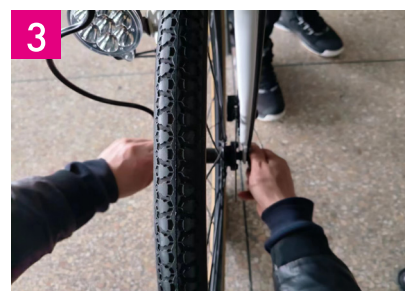
前輪タイヤの取り付け



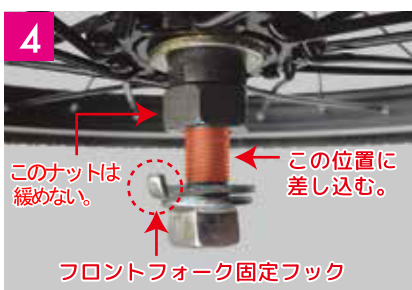
はじめにフロントフォークが、後ろ向きになっていますので、矢印の方向に回転させてください。



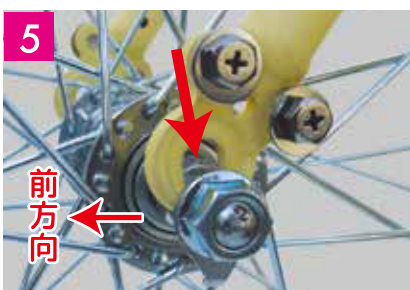
ハンドルをフロントフォークに差し込み、高さと向きを合わせます。
※(取扱説明書/ハンドルの取付参照)



ディスクブレーキの円盤がきちんとパッドに嵌るようにしてください。(注意!)9ページ前輪の取付及びディスクブレーキの調整参照



前輪タイヤの軸(赤で示した位置)にフロントフォークを差し込みます。
※(上記のナットは絶対に緩めない。)



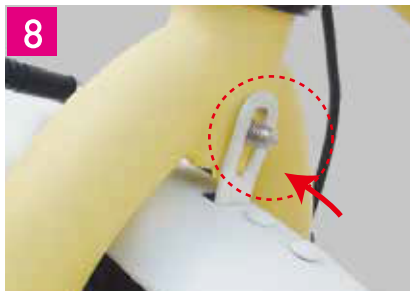
保護キャップを外し、フロントフォークを前輪タイヤの軸(指定箇所)に合わせて奥までしっかりと差し込んでください。



フロントフォーク固定フックをフロントフォークの穴にはめてナットを軽く仮止めして、左右バランス確認しながら、しっかりと固定してください。



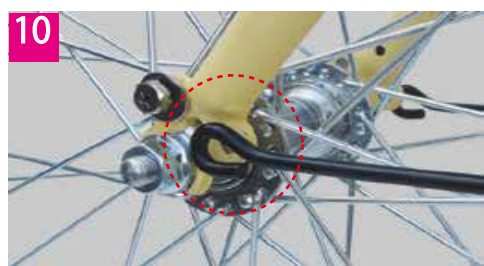
フロントフォークの後側中央のナットとワッシャーを前側のネジを押さえながら取り外してください。



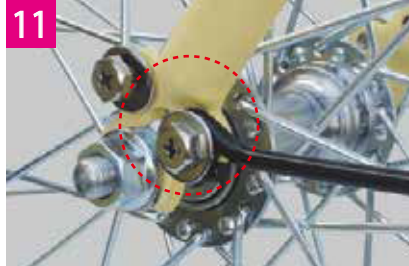
後側から泥よけカバーを差し込み、フックをネジに合わせて、7で外したナットで止めてください。



つぎにフロントフォーク両側面のネジとワッシャーを取り外してください。※(上記のネジを外す)



外したフロントフォークのネジの位置に泥よけのステーの穴を合わせてください。

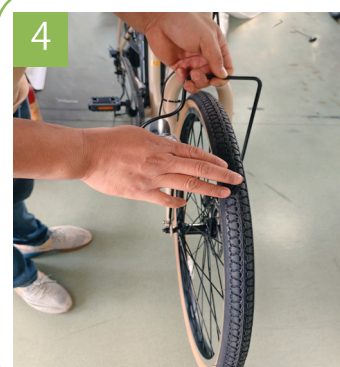
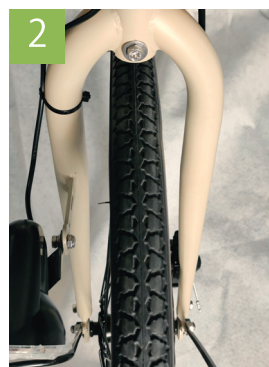


合わせましたら左右の泥よけのステーをワッシャーとネジで軽く締め付けて取り付けてください。



最後に全てのネジを緩みがないように付属のスパナでしっかりと締め、ハブキャップを取り付けて完了です。※商品保護のため、予め1個は装着済みです。

ステップ① 前輪の取付



- 1: ブレーキパッドの保護材を取り外す(保護材使い捨て)
 2: 前輪をフロントフォークセンターになるように取付
 3: ディスクブレーキローターはブレーキパッド真ん中になってるか確認する
 4: 前輪がスムーズに回転するか確認

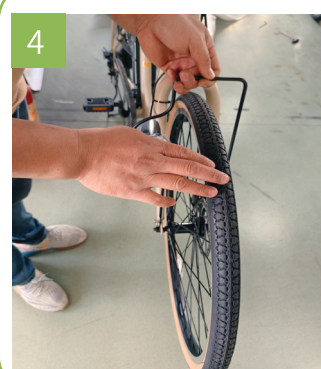


ブレーキレバーが緩かったり、固い場合やディスクブレーキに擦れがある場合は次の調整ステップに進む

ステップ② ディスクブレーキの調整



- 5: ブレーキレバー握り幅調整(握ったときにグリップと平行が理想)
 1: ディスクブレーキ位置調整ボルトを緩める(2箇所)



- 2: ディスクブレーキ裏のパッド調整ボルトを回し、ブレーキレバーをしっかり握ったときに、グリップと並行になるようにする(前輪の取付の5を参照する)
 3: ブレーキレバーを強く握りながら、ディスクブレーキ位置調整ボルトを固定する。
 4: 前輪を回転させ、パッドとディスクブレーキローターの摩擦があるか再確認する。干渉しない程度まで調節する。

ハンドルの取り付け

○お客様で自身でハンドルを調整される際にご参照ください。



ハンドルを差し込み、ハンドルが前タイヤに対し90度(直角)になるように方向を合わせます。

⚠ 注意:

ハンドルの引き上げ限界線が見えない位置まで必ず差し込んでください。ハンドルの折れや抜けにより事故の原因になるおそれがあります。

お好みの高さに調整して、六角レンチでステムのボルトをしっかりと締め付けてください。

⚠ 注意:

ボルトをしっかりと締付けた後、ハンドルが左右に動かない事を確認してください。

※組立完成品をご購入のお客様も写真のボルトをゆるめ、ハンドルをお好みの高さに調整することができます。

ハンドルの引き上げ限界線が見えない位置まで必ず差し込んでください。



ハンドル[A]の部分のネジをゆるめるとハンドル角度の調整が可能です。お好みの角度に調整した後、再度しっかりと締め付けてください。

- ① 初期出荷状態では、ハンドル角度は標準の位置で取り付けられています。
- ② 角度調整をしない場合でも、必ずネジにゆるみがないか確認してください。



サドルの取り付け

○サドルを差し込み、高さを調整した後固定ボルトをしっかりと締め付けてください。



注意： ボルトをしっかりと締め付けた後、サドルが左右に動かないことを確認してください。



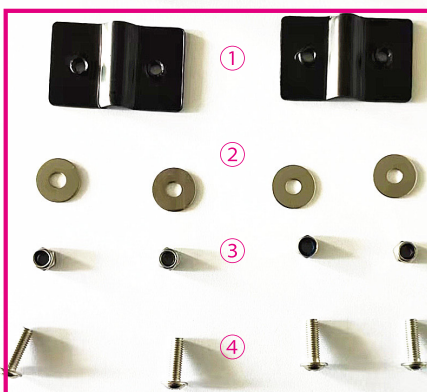
注意： サドルの引き上げ限界線が見えない位置まで必ず差し込んでください。サドルの折れや抜けにより事故の原因になるおそれがあります。

前カゴの取り付け

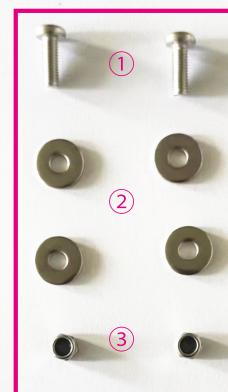
〈部品袋内容一覧〉



〈前輪用部品〉
① 前輪ハブキャップ×2
※(予備)
② 前泥除け固定ネジ用キャップ×1
③ ハンドルステム保護キャップ×1

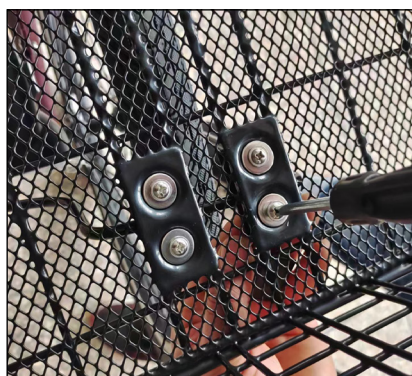


〈カゴ底面用〉
① 板ナット×2
② 16mm厚さ1mmワッシャー×4
③ 緩み防止ナット×4
④ 16mmネジ×4



〈カゴ側面用〉
① 16mmネジ×2
② 14.5mm厚さ2mmワッシャー×4
③ 緩み防止ナット×2

《前カゴの底面》



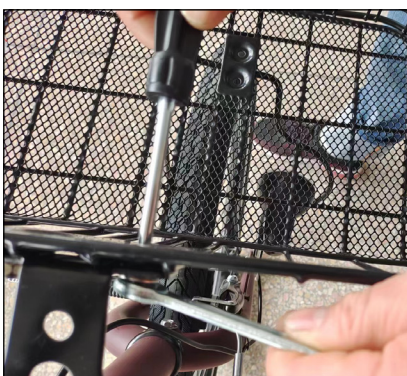
【内側】

④に②を通し、外側の①のネジ穴に合わせて締めて下さい。

【外側】

①でステイを挟み、④を締め終えた後に③で留めて下さい。

《前カゴの側面》



【内側】

①に②を通し、ステイに合わせて締めて下さい。

※カゴとステイ板にすき間が出来る場合はステイのネジを緩めて角度調整して下さい。

【外側】

ステイから出る①の先端に②を通し、③で留めて下さい。

《前泥除け固定ねじ用キャップ》



泥除けを固定してから、ネジの先端に前輪用部品②を付けて下さい。



カゴの底面と側面の露出しているネジにスパナ8ミリで緩み防止ナットを最後まで増し締めしてください。目安として、ねじ山の露出は3山です。走行する前に都度、ゆるみがないかを確認してください。

ペダルの取り付け

この面に刻印があります。



ペダルには左右の区別があります。ペダルを取り付ける際には、まずペダルの左右を確認してください。ペダルの左右はネジ山先端部分（平面になっている箇所）に刻印されています。

**右足側→R の刻印
左足側→L の刻印**

取り付けの際は、下記の説明を確認しながら正確に取り付けてください。また、ペダルは車体に向かってまっすぐに取り付けてください。

※右ペダルの取り付け方



※左ペダルの取り付け方

取付間違いが多いので注意してください。 **注**



注意 ペダルが入りにくいときは無理をせずに、再度左右を確認してください。無理矢理ペダルをねじ込んで装着しますと、大変不安定になるだけでなく、クランクのネジ山が削れてペダルが脱落し、大変危険です。また、クランクの修理も不可能になりますので、十分にご注意ください。
※ペダルの取り付け不良による故障は、初期不良期間中（お届け日から8日間）でも有償での修理となります。



リング錠について、解錠状態は錠が外せません。

施錠する際、上部のレバーを下方へ回し、最後まで押すとロックがかかり錠が外せます。

解錠する際、錠を内側（時計回り）方向へ回します。

主電源の「オン／オフ」

① パネル電源の「オン／オフ」

左ハンドルにあるスイッチパネル(残量計)は電源ボタンを長押し(1秒程度)ごとに「オン」と「オフ」に切り替わります。残量計は自転車作動しない時(静置状態)5分後自動消灯します。事前にご了承ください。

② ライト(前照灯)の「オン／オフ」

手元残量計電源ボタンがオン(入)になっている時にライトボタンを押すとライト(前照灯)が点灯します。もう一度押すとライト(前照灯)が消灯します。

③ 走行モードの表示と切り替え

電源ボタン ライトボタン バッテリー残量計表示ランプ



走行モード切替ボタン 走行モードランプ

モード	アシスト〈力〉	
強	高	発進時や急な坂道を走行するときに使用すると楽です。
標準	中	平坦な道やゆるやかな坂道などで使用します。
エコ	低	できるだけ長い距離を走りたいときに使用します。(節電モード)

トルクセンサーについて

この自転車は、トルクセンサー搭載タイプとなります。人がペダルを漕ぐときに生じる力をセンサーが感知して、モーターに補助的な力を加える(アシスト)ことで快適に乗ることができます。ペダルを漕ぐ力を感知する為、発進時や坂道の途中から発進する際、特に性能を発揮します。

停止からの発進



急な坂道での発進



■ **注意事項①** ただし、次のようなときは電動アシストが働きません。

※速度が24km/h以上のとき

24km/h以下でも平坦な道等で、ペダルに負荷があまりかからない道路ではアシストが働かない場合があります。

※バッテリー残量がなくなったとき

バッテリー残量がなくなると、アシストは働きません。普通の自転車と同じ状態になります。

■ **注意事項②**

ペダルを漕ぐ力を感知するため、けんけん乗り(片足でペダルを漕ぎながら助走してサドルにまたがる乗り方)はしないでください。急発進してしまい、転倒や接触によりけがや事故のおそれがあります。サドルにまたがってから、ゆっくりとペダルを漕いでください。

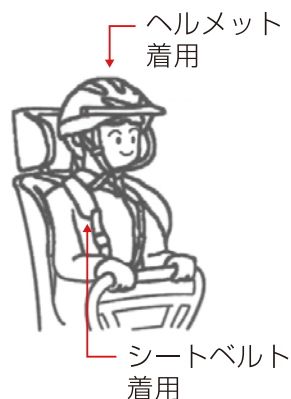
チャイルドシート(別売)をご使用になるときは、次の点にご注意ください。



警告

取り付けの前に下記条件を満たしているかご確認ください。

- 両立スタンドが装備されていること。(乗せ降ろし時の安定のため)
- リヤチャイルドシートを使用するときは、ドレスガードが装着されていること。
(車輪への巻き込み防止のため)
- チャイルドシートが確実に自転車に固定され、破損していないことを確認してから使用してください。
- リヤチャイルドシートはそれぞれの取付説明書に従い、できるだけサドル寄り(前方)に取り付ける必要があります。取り付け位置がリヤキャリアの後ろに出っ張ると、走行安定性が悪くなったり、無理な力が加わり壊れやすくなります。
また、自転車の前側が浮き上がりやすくなる場合がありますのでご注意ください。
- 不意の衝突や転倒の衝撃からお子様を守るため、同乗させるお子様には必ず自転車用の幼児用ヘルメットを着用させてください。
- お子様を同乗させる場合、車輪などの可動部に触れさせないでください。車輪に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
- チャイルドシートは、適正な取り付けのため、自転車販売店で取り付けてください。
- チャイルドシートの取扱説明書をよく読んでご使用ください。
- チャイルドシートを装着し、お子様を同乗させると、車体にふらつきが出てハンドルをとりやすくなるため、自転車に乗りなれてからの同乗をおすすめします。



強制

- シートベルトを着用して、お子様がチャイルドシートから落ちないようにしてください。
- お子様の乗せ降ろしは地面が平らな場所で行ってください。
- お子様には靴を履かせてチャイルドシートに乗せてください。



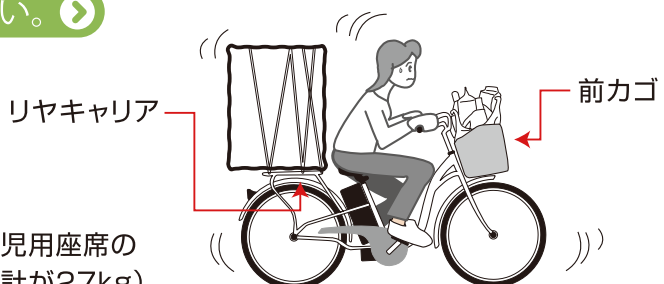
禁止

- お子様を乗せた自転車が倒れると、お子様が地面にぶつかり、けがの危険がありますので、決してお子様を乗せたまま駐車したり、自転車から離れないでください。
- 本機種は幼児2人同時乗用自転車ではありませんので、前にチャイルドシートを取り付けないでください。

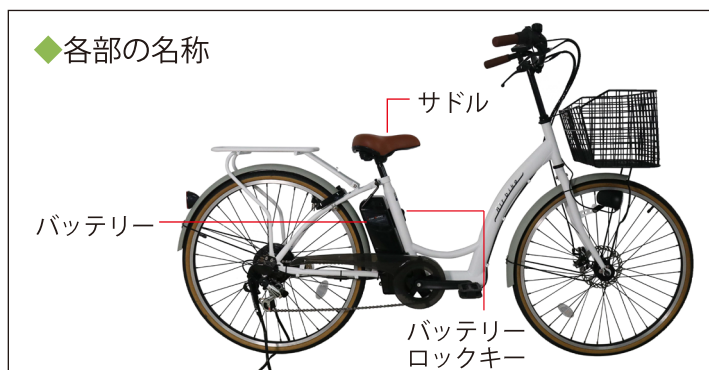


荷物を載せるときは、積載条件を守ってください。➡

- 前カゴ：
最大積載量 3kg
- リヤキャリア：
最大積載量 27kg
(このリヤキャリアに幼児座席を取り付ける場合は、幼児用座席の質量とその幼児用座席が指定する最大適用体重との合計が27kg)



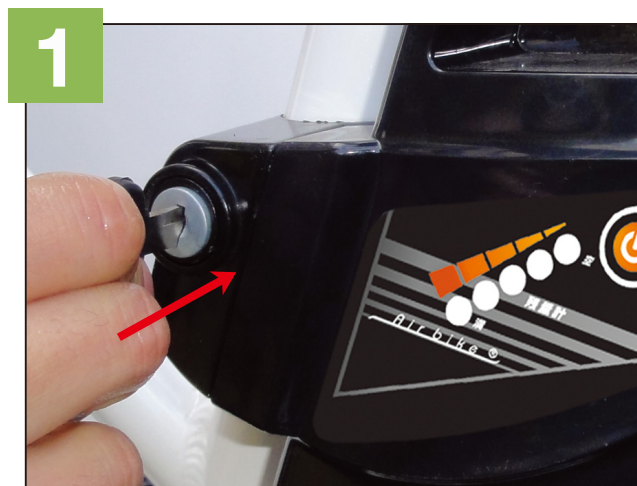
① バッテリー充電前の準備 (バッテリーの取り出し)



電動アシスト自転車は、充電が必要な商品です。



メインスイッチの電源ボタンを押して電源を切ってください。



バッテリーロックに鍵を差し込みます。
しっかりと奥まで差し込んでください。

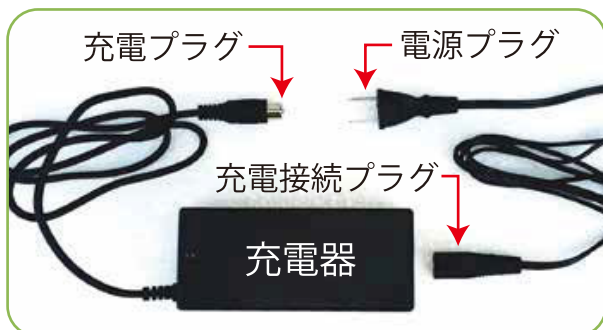


鍵を左方向に回してバッテリーロックを解除してください。

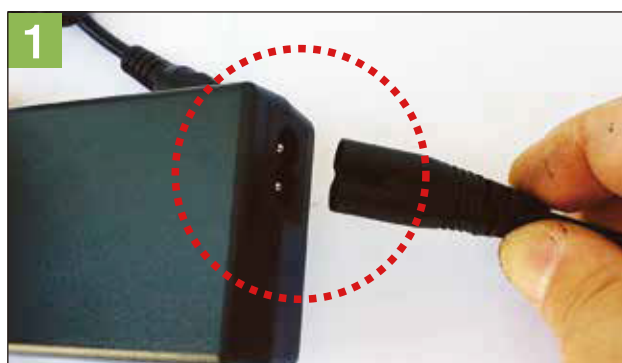


ロックが解除しましたら、バッテリーの上部取っ手を手前に倒し、上側に引き出してください。

② バッテリーを充電



— 充電器とバッテリーを準備 —



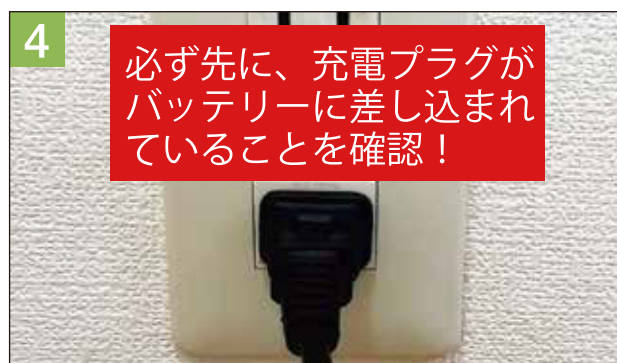
1. 充電接続プラグを充電器に差し込みます。



2. 充電前、充電ジャックの防水栓を外してください
(充電完了後、必ず防水栓を付けてください。)



3. 奥までしっかりと差し込んでください。



4. ご家庭のコンセントに電源プラグを差し込みます。
(※手順に注意してください。)



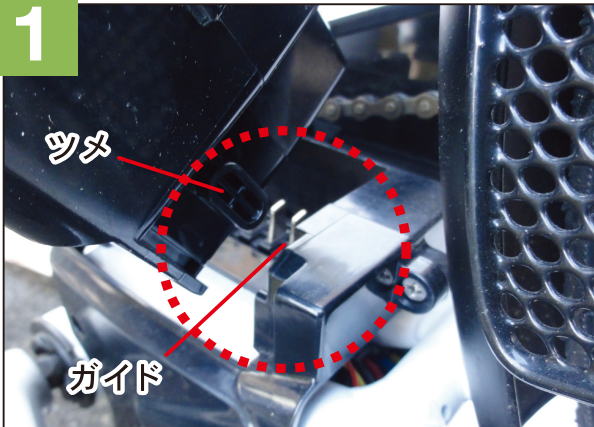
5. 充電中は、(赤) のランプが点灯します。



6. 充電完了に近づくにつれて、(赤) のランプから
(緑) のランプ点灯に変わって充電完了です。

③ 充電後バッテリーを自転車本体に装着

1



バッテリーの2ヶ所のツメ部分を車体のガイドに合わせてください。

2



ツメ部分を合わせたらガイドに沿わせて、しっかりと奥まで差し込んでください。

3



バッテリーの上部をカチッと音がするまで車体側に押して固定してください。
※装着後、バッテリーを手前に引いて、確実に装着ロックされていることを確認してください。

⚠ 注意

バッテリーを取り付けるときに、指などを挟まないように気をつけてください。
また、バッテリーは、確実に装着されていないと落下し、破損するおそれがあります。

注

「鍵」の紛失にはお気をつけください

このバッテリーロック錠は特殊な構造のため、破損や故障・鍵を紛失した場合にはすべてのお取り換えとなります。
お取り換えはメーカーにて「有償対応」となります。ご交換を希望される方は下記までご連絡ください。

ご購入後のサポートは、こちらへ ➡

教えて santasan

検 索

<https://santasan.answerstation.net/>

TEL:050-2018-2475 FAX:072-672-7674

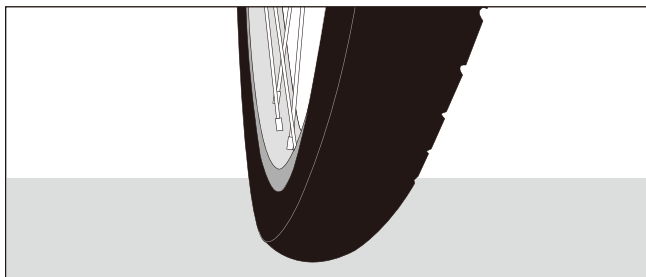
[電話 10:00-14:00]



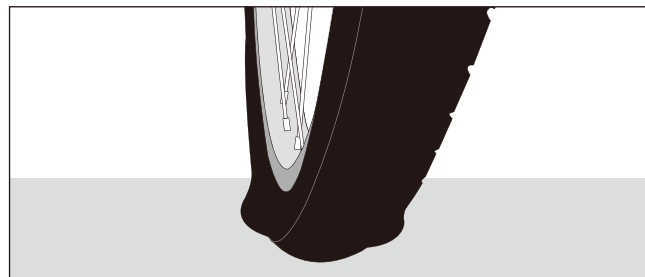
タイヤの空気圧について

タイヤの空気圧が減った状態で走行するとタイヤに負担がかかり、タイヤの消耗やチューブの劣化が早くなります。自転車に乗る前に、こまめに空気圧の確認をしていただき、減っているのであれば空気ポンプ空気をお入れください。(タイヤの消耗を軽減する事ができます。)

※特に後輪側は、リヤキャリアに後ろカゴやチャイルドシートを取り付けるとタイヤに負荷がかかりやすくなりますので空気圧のチェックは怠らないようにしてください。



空気がしっかり入っている状態



空気が抜けた状態

走行距離に影響を与える状況・環境

○1回の充電による走行距離は、下記の状況や環境により左右されます。

冬季や寒いとき (寒い環境・5℃以下では、バッテリーの性能が低下します。)	急な坂道のとき	向かい風のとき	タイヤの空気圧が低下しているとき。
乗員体重、積載重量(荷物)が重いとき	発進・停止の回数が多いとき	路面状況が悪い(凹凸道)のとき	ペダルが重くなる走り方をしたとき。 (例えば、重い変速位置での走行)
			ライトを長時間点灯したとき。

※バッテリーに関する注意事項

- バッテリーは重量があるので、お取り扱いには十分お気をつけてください。
- 充電完了の合図になりましたら、早めに充電器をコンセントから外してください。
- 残量計の点灯が少ない場合は、早めに充電を行ってください。
- 専用の充電器以外でバッテリーを充電しますと、バッテリーの発熱・破損・発火の原因になります。
専用充電器以外は、絶対に使用しないでください。
- 専用充電器を水没させたり、雨中に放置しないでください。濡れたままで使用になりますと、火災の原因となり大変危険です。また、充電中にバッテリーを破損させることがあります。
- 充電推奨温度は10℃～25℃ベストです。0℃以下は絶対に充電しないでください。
0℃以下充電すると、バッテリーの発熱、発火の原因になります。冬でも夏でも室内の充電をしてください。
安定がよいところ、水に濡れないところ、直射日光を避け、風通しが良く、湿気の少ないところでしてください。
屋外での充電は避けてください。
- 充電ができなかったり、充電しても電源が入らない場合は、故障の可能性がありますので、販売店にご相談ください。



バッテリー取扱いを誤った場合は大変危険ですので、必ずP19～P21の内容を確認してください

この製品はリチウムイオン電池を搭載しております。

バッテリーには内部エネルギーを保持していることに加えて、充電・放電時にエネルギーの変換をしていることから、取扱いを間違えた場合、危険を生じる可能性があります。バッテリーの使用環境、使用方法、保守並びに廃棄迄の安全性を確保するため必ず取扱説明書をお読みください。

また、バッテリーは充放電サイクルを繰り返すことによって徐々に劣化し、寿命があり、いつまでも使い続けることは出来ません。バッテリーが劣化すると交換が必要です。交換しないで使い続けると、発火などの原因になる恐れがあります。

無視して使い続けると重大な事故の原因となる場合があります。そのため、ご使用状況に応じて、定期的に取り替えます様、お願い致します。

十分な性能を維持する為には最低でも3年に一度バッテリーの交換を行ってください。(ご使用状況や保管状況によって異なりますが、ご使用開始から2年目より徐々に消耗が見られるようになります。)

買替目安として、

- 走行距離が著しく短くなった
- 充電の頻度が以前より増えた
- 長期間にわたり使用しなかった

注意：寿命期には、バッテリーの外観が変形する、電池温度が高い、稼働時間が短縮したなどの症状がみられる場合があります。

このような症状があるときは、バッテリーの取替え時期の目安に関係なく速やかにバッテリーの使用を中止し、取替えをお願いします。

また使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

 危険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことがあり、かつ、その切迫の度合いが高い危害の程度。
 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定される危害の程度。軽傷又は物的損害が発生する頻度が高い場合。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、又は物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

 危険・警告

- ①バッテリーを密閉空間や火気の近くや変圧器などの発熱部付近で使用したり、炎天下の自動車内、直射日光の強いところ、ストーブの付近、火の傍等の高温の場所で使用したり、充電したり、保管しないでください。
- ②バッテリーはショート（短絡）させないでください。バッテリーの＋端子と－端子を針金などの金属類で接続させないでください。
- ③バッテリーを分解・改造・破壊しないでください。
- ④専用充電器以外は、絶対に使用しないでください。
- ⑤電池を過放電させないでください。過放電させると充電してもバッテリーが回復困難になる場合があります。容量低下、短寿命になるだけではなく再充電して発熱膨張発火などの原因になります。特に過放電後、長期間に放置したバッテリーには絶対に再充電しないでください。
- ⑥電池を過充電させないでください。充電完了の合図がありましたら、早めに（目安として1時間以内）充電器をコンセントから外してください。バッテリーの充電時間は、電池容量及び充電前の残量によるのですが、5.96AHの電池最大でも5時間で完了します。（5時間で充電が完了しない・バッテリーが異常発熱する等の状況がみられましたら、すぐに充電器をコンセントから外して、メーカーにお問い合わせください。）
- ⑦バッテリーには強い衝撃を与えないでください。高所から落としたり、投げつけたりして強い衝撃を与えないでください。変形してショートし、発熱、発火、破裂、断線などの原因になる恐れがあります。また、衝撃によりケースに割れが生じると、電解液の漏れの原因になる恐れがあります。

上記をお守りいただかないとバッテリーの温度が上がったり、バッテリーの変形膨張、液漏れ、火災、爆発などの原因となります。

発熱、変形、異音、異臭、液漏などその他今までと異なることに気づいた時、異常が生じたものは直ちに使用を中止してください。

上記事項を守らずに発生した事故などについては当社は一切責任を負いかねます。事前にご了承ください。

 電池の取扱い注意

- ①メーカー指定以外の充電器を使った充電はやめましょう。バッテリーの充電中は、必ず電源をOFFの状態にしてください。初回に満充電後、使用して下さい。
- ②過放電を避けましょう。回復電圧状態で、絶対使用しないでください。深い放電とその後の放置による自己放電が重なると寿命を著しく縮める結果になります。場合により再充電したら膨張、発火の原因になります。
- ③バッテリーは本体冷却後、速やかに充電してください。（ご使用後バッテリー本体が発熱している状態で充電されますとバッテリーの寿命を減らすだけではなく膨張発火などの原因になります。30分ぐらい放置し、冷却した後に行ってください。）
- ④発熱、変形、異音、異臭、液漏など異常が生じたものを使用するのはやめましょう。
- ⑤以前に比較して減りが早くなった場合や充電に時間がかかるようになった場合、充電時に熱くなるようになった場合など、バッテリーが傷んでいますので、使用をやめましょう。

- ⑥改造、分解をしたり、衝撃や振動、外力を与えることはやめましょう。
- ⑦水没した電池は使用しないようにしましょう。
- ⑧強い振動がある場所や、チリ・ホコリの多い場所で保管しないようにしましょう。
- ⑨強い電波や磁界を発する機器の近くに保管しないようにしましょう。
- ⑩長期間、高温多湿の環境で保管しないようにしましょう。
- ⑪専用充電器を水没させたり、雨中に放置しないでください。濡れたままご使用になりますと、火災の原因になり大変危険です。また、充電中にバッテリーを破損させることがあります。
- ⑫液漏れなどある場合は触らないでください。皮膚や衣服についたら多量の水で洗い流してください。万一、目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流して、直ちに医師の診察を受けてください。
- ⑬バッテリーの使用温度範囲は、次の通りです。この使用範囲以外では、バッテリーの性能及び寿命を低下させると共に、バッテリーの漏液、火災、爆発の原因になる恐れがあります。(放電時) -20～+55℃ (充電時) 0～+45℃ (保存時) 三か月以下: -20～+45℃ 一年以上: -20～+25℃
- ⑭バッテリーは指定された用途以外には使用しないでください。指定された用途以外に使用するとバッテリーの漏液、火災、爆発などの原因になる恐れがあります。
- ⑮動物・ペットのそばには、電池を放置しないでください。噛む等によって電池が破損し、発熱、破裂、発火の原因になります。
- ⑯乳幼児の手の届かない所に置いてください。不用意な取り扱いは危険を伴います。
- ⑰廃棄の際は各種事業団体が行っているリサイクルへ出しましょう。

上記事項を守らずに発生した事故などについては当社は一切責任を負いかねます。事前にご了承ください。

以下のような条件では劣化が早まります。

- ①放置時間長く、使用頻度低い時
- ②バッテリー残量少ない状態で、長期間放置した時
- ③高温になる場所で充電を繰り返し保管をした時
- ④寒い環境(0℃以下)ではバッテリーの性能低下します。

長くお使いいただく為に

- ①使用後、長期間使用しない場合は必ず満充電してから保管してください。
- ②使用せずに長期間保管する場合は満充電し、さらに3か月に一回に補充電をおこなってください。(電池使用しなくても自己放電する)
- ③低温環境 -10℃以下、使用しないでください。
- ④0℃以下充電しないで下さい。
- ⑤最高性能使用環境温度は20～25℃で高温、低温環境の使用をできるかぎり避けてください。

商品がお手元に届きましたら

まずは商品の状態を確認してください。お届けには万全を期しておりますが、商品の不具合や欠損がないか、必ずご確認ください。

(お客様のご都合により、開封が遅れた商品への対応はいたしかねますので、予めご了承ください。)

初期不良について

初期不良のご申請期間は、商品到着日より8日間とさせていただきます。商品到着後、何か不具合等がございましたら、まずは販売店までご連絡ください。修理もしくは交換という対応をさせていただきます。ご返送方法や詳細につきましては、販売店までお問い合わせください。

保証の適用除外

- 保証期間が経過している場合。
- 使用者の不注意、使用方法に起因する不具合や消耗品である場合(バッテリーの経年劣化を含む)。**
- 改造された場合。
- 衝突／転倒／道路の段差への乗り上げ、または溝等に落ちて生じたもの。
- 法令の違反行為(最大積載量オーバー、2人乗り等)によって生じたもの。
※後輪にハブステップをつけての2人乗りによって生じた故障も保証適用外です。
- 保守／点検の不備または間違いによって生じたもの。
- 酷使または一般に自転車が行かない場所での走行により生じたもの。
(道のない山岳ツーリング、道のない土手の傾斜面等)
- 地震、落雷、火災、水害、公害、その他人災、天災、地変によって生じたもの。
- 手入れ不十分、保管場所の不備及び時間の経過により生じた塗装面、メッキ面、その他これに類する部分の不具合、もしくはプラスチック部品等の自然退色、**部品の通常の磨耗または疲労**と認めたもの。(タイヤ、チューブ、ブレーキ用ゴム等のゴム類)
- くぎ、ビン、ガラス、切削くず、鋭利な石ころ等で生じるパンク。**
- 一般に機能上の影響のない感覚的症状。(音、振動等)
- その他販売店の判断に基づき有料と認められる場合。

「自転車防犯登録」について

ご購入後の盗難に関する責任は弊社では一切負いかねますので、防犯登録はお客様の責任において行ってください。自転車防犯登録は都道府県毎ごとに管理されております。お近くの自転車防犯登録所(自転車販売店、ホームセンター等の自転車を販売しているところ)において、自転車本体、身分証明書・弊社の納品書をお持ちいただき、自転車防犯登録を行ってください。(販売証明書を同封していますのでご利用ください。)

※必ず商品の検品をしてから防犯登録を行ってください。万が一防犯登録後に不良などにより返品される場合は、返品前に防犯登録の解除をお願いすることになります。

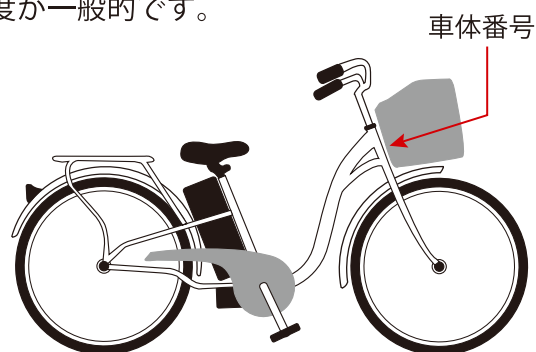
※料金は各地域によって異なりますが、500円～1,000円程度が一般的です。

※車体に刻印されている車体番号は控えを取り大切に保管してください。

※車体番号は各自転車固有のものです。紛失されましても、弊社ではお調べすることができません。

※車体番号が読み取りづらい場合は、型(26インチ電動アシスト自転車等)として登録を行うことが可能です。

※bicycle-213assistの車体番号は、フロントフォークのヘッド部分に記載。



お求めいただきました自転車には、5年間の安心修理サービス(有償)が付いております。

当店だけの購入特典！5年間安心修理サービス

点検メンテナンス、故障メンテナンスを承ります。

『安心の特別価格で修理いたします!』

修理費 一律 8,000円 + 往復送料

◎どのような不具合も一律料金のため、安心して修理にお出ください。

※メンテナンス用部品は単品販売も承っています。

- ・修理の自転車を弊社指定場所へお送りいただきます。
 - ・弊社へお送りいただく送料及び弊社よりご返却の際の送料は、お客様のご負担となります。
 - ・お送りいただく際の商品の梱包は、お客様の梱包材による梱包となります。
- ※商品をお届けした際の外箱は保管していただきますと、安心修理サービスご利用の際にもお使いいただけます。 (下記をご参照ください。)

■安心修理サービスの流れ

- (1) まずは、お客様からメールでご連絡ください。その際、お手元に自転車ご購入時の購入店舗名やご注文番号と、お客様のお名前(フルネーム)をご用意いただきますと対応がスムーズになります。
 - (2) 症状をお聞かせください。受付番号と返送方法をご案内いたします。
 - (3) 案内に沿って、自転車をご返送ください。
 - (4) 修理・点検・整備完了後、自転車をお手元にご返却いたします。
- ※修理費に関しましては、発送前のお支払いもしくは自転車到着時のお支払い(代金引換)をお願いしております。

※故障箇所によっては特殊な部品の手配が必要となるため、修理に1ヶ月以上かかる場合もございます。

※修理と併せて点検も行わせていただきます。消耗品等に関しましては、お取り換えをご案内させていただくこともございます。(消耗品は修理費と別に有償となります。)

※弊社からのご購入ではなく、正規販売店様よりお求めのお客様の修理に関しましては、保証書(説明書最終ページ)を弊社にご提示いただき、弊社での修理も承っておりますが、まずはお求めのショップ様へお尋ねください。

■メンテナンス用部品の単品販売

バッテリー、タイヤ、チューブ等のメンテナンス部品は別途単品販売を行っています。

お求めいただく際、自転車ご購入店舗名や注文番号とお名前(フルネーム)、ご希望部品名をお聞かせいただけますと対応がスムーズになります。

部品名がご不明の場合はお写真や動画を撮ってお送りください。

お届け時の外箱(段ボール箱)に関しまして

- お届けの際に、商品が入っていた外箱(段ボール箱)は、万が一初期不良が発生した場合、返品に使用していただく箱となります。お届けから8日間の申請期間中は、必ず保管していただきますようお願いいたします。
- 外箱なしでのご返送いただきました場合、修理完了後(もしくは交換の際)弊社で外箱の用意もしくは梱包をして、返却いたします。その場合は、梱包代(500円~1,000円)をご負担いただきますので、ご理解とご了承をお願い申し上げます。
- 初期不良期間以降の不具合修理で輸送を行う場合も梱包が必要です。お届け時の外箱は処分されないことをおすすめします。

Santasan 自転車5年間安心修理サービス保証書

商品名：bicycle-213assist 電動アシスト自転車 有効保証期間：ご購入より5年間

お客様 住所 〒

お名前

お電話

様

ご購入日： 年 月 日

正規販売店 ※正規販売店とは **Santasan** (日本タイガー電器株式会社)と正式な契約をしている販売店のことです。

印

※保証をご希望される場合、**Santasan**(メーカー)にて直接ご購入いただいたお客様は、本保証書と自転車購入の際の納品書で対応が可能です。**Santasan**(メーカー)以外の正規販売店でご購入いただいたお客様は、正規販売店欄に必ず店印が必要になります。尚、正規販売店の店印がない場合や正規販売店以外でご購入いただいたお客様は保証対象外となります。この保証書と納品書は、大切に保管してください。

この保証書は、本書の示した期間、条件のもとにおいて修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な点がございましたら販売店までご連絡ください。

商 品 仕 様

品番／型番	bicycle-213assist	原 産 国	Designed in Japan Made in China
車体カラー	ブラック・ホワイト・ベージュ・ブラウン	材 質	スチールフレーム
電 源	充電式リチウムイオンバッテリー×1(25.2V 5.96AH)	充電時間	2~5時間
全 長	1880mm	全 幅	580mm
重 量	25 kg(バッテリー含まず)	バッテリー重量	1.21kg
走行距離の目安	約 30 km (積載重量60kg／満タン充電時／標準モード走行) ※基準測定方式での目安であり、走行状況や環境によって大きく異なります。 ※パワーモード(強)での走行は、走行距離目安より大幅に減少します。		
補助速度範囲	24km/h 未満		
体重制限	85kg		
性能／機能	・アシスト／電源を切って普通自転車としても走行できます。 ・26×1 3/8 WO規格タイヤ 高光度白色LEDライト ・米式バルブ(米式の空気入れをご使用ください)		
付属品	・充電器・工具・取扱説明書・ペダル・サドル・鍵(2種)・返品カード・販売証明書 ※お届け後、お客様にて簡単な部品取り付けが必要となります。 ※付属していない工具は、お手元でご用意ください。		
その他	・ご使用の際には、付属の説明書を必ずお読みください。		